

令和5年(暦年)修学旅行入込状況調査結果について

令和5年(暦年)の沖縄修学旅行の入込実績

【校数】 1,931校 (対前年+656校、+51.5%)
 【人数】 341,380人 (対前年+112,108人、+48.9%)
 ~校数、人数ともに順調に増加し、回復傾向~

1 調査の概要

(目的)

沖縄県への修学旅行入込状況を把握し、今後の修学旅行の誘致及び受入体制の充実に資するとともに、観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

(調査対象期間)

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

(調査の方法)

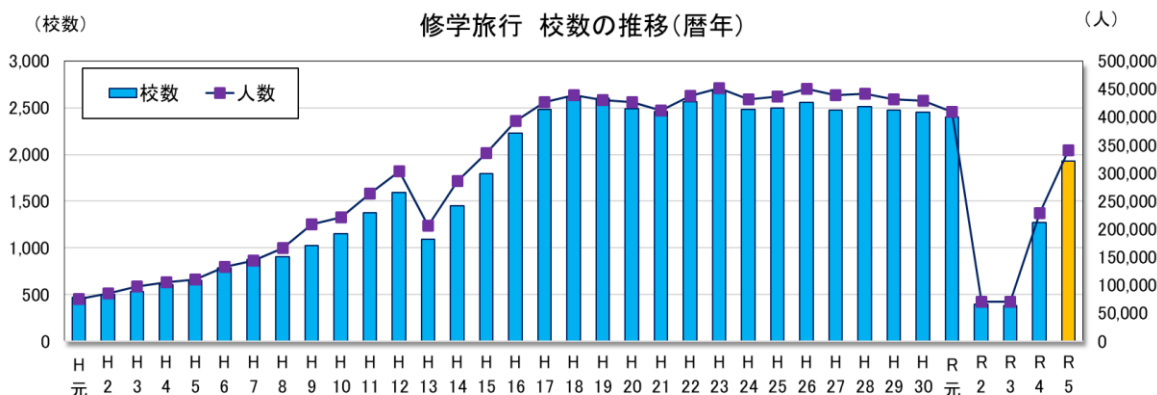
沖縄県への修学旅行取扱旅行会社から、月毎の受入校数(校種別)、人数、学校所在都道府県、宿泊地、滞在日数が把握できる取扱実績データの提供を受け、集計した。

※ この調査は、修学旅行の取扱実績を有する旅行社からの提供資料を取りまとめたものであり、全数調査ではないことに留意

2 調査結果の概要

(1) 推移【暦年】

沖縄県への修学旅行入込数は、平成17年に初めて40万人を突破し、平成23年には東日本大震災による旅行先の振替の影響もあり、校数、人数ともに過去最高となった。その後は、概ね横ばいで推移していたが、令和2年及び3年は新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により大幅に減少した。令和5年は、令和4年に引き続き行動制限の緩和に伴い回復傾向に転じており、年間の実績は1,931校、341,380人となった。なお、コロナ禍前の令和元年に対しては、校数は80.5%、人数は83.5%となった。



	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
校数	2,455校	2,398校	395校	381校	1,275校	1,931校
対前年増減比	▲ 0.8%	▲ 2.3%	▲ 83.5%	▲ 3.5%	234.6%	51.5%
人数	429,224人	409,011人	70,414人	70,038人	229,272人	341,380人
対前年増減比	▲ 0.7%	▲ 4.7%	▲ 82.8%	▲ 0.5%	227.4%	48.9%

(2) 令和5年の校種別内訳

校種別で見ると、校数では高校が71.3%、中学校が27.3%となっている。人数では、高校が79.6%、中学校が19.9%と、高校と中学校で人数の99.5%を占めている。

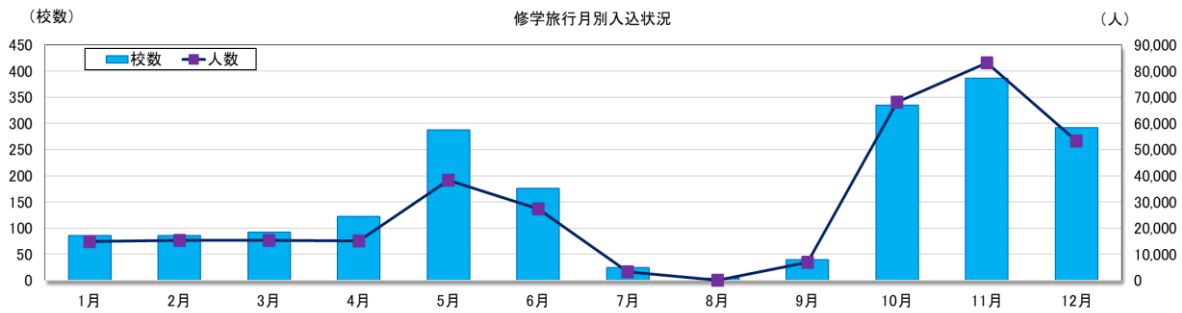
(令和5年実績 修学旅行入込校数・人数)

	校数			人数		
	(校)	構成比	対前年比	(人)	構成比	対前年比
小学校	16	0.8%	128.6%	895	0.3%	305.0%
中学校	527	27.3%	160.9%	67,767	19.9%	176.4%
高校	1,377	71.3%	29.9%	271,869	79.6%	33.1%
専門学校	8	0.4%	100.0%	702	0.2%	427.8%
大学	1	0.1%	-	9	0.0%	-
その他	2	0.1%	-	138	0.0%	-
合計	1,931	100.0%	51.5%	341,380	100.0%	48.9%

※構成比は小数点第2以下を四捨五入しているため、合計しても100%とはならない。

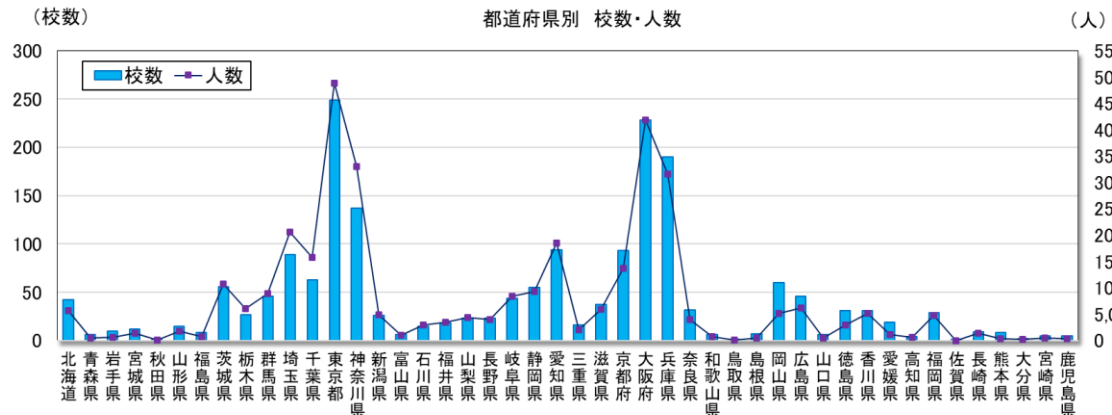
(3) 令和5年の月別入込状況

月別入込状況を見ると、夏季に例年と同様の落ち込みがあるものの、10月以降の回復が顕著となっている。



(4) 令和5年の発地(都道府県)別入込状況

沖縄県への修学旅行の発地をみると、校数・人数は東京都が最も多く、次いで、大阪府となっている。



(本件に関する問合せ先)

沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課

電話 098-866-2763 (担当 諸見里)